

宇治市環境保全審議会会議録要旨

会議名	令和4年度第1回宇治市環境保全審議会
日時	令和4年10月21日(金) 10時00分～11時20分
場所	うじ安心館 3階ホール
出席者	<p>委員 大河委員 岡本委員 松良委員 山田委員 古島委員 吉田委員 中川委員 多田委員 鳥居委員 居原田委員 岸本委員 魚住委員 杉原委員 欠席3名</p> <p>宇治市 川口副市長 伊賀人権環境部長 前田同部副部長 (事務局) 吉田環境企画課長 井上同課副課長 亀井同課地球温暖化対策係長 中尾同課主任 杉本同課主任</p> <p>傍聴者 3名(記者1名)</p>
1	開会
2	<p>委嘱状交付</p> <p>宇治市環境保全審議会委員の任期満了に伴い、令和4年9月1日より令和6年8月31日まで2年間の任期で新たに委嘱を行った。</p>
3	副市長挨拶
4	<p>正副会長互選</p> <p>「宇治市環境保全審議会規則」第4条第1項の規定により、互選により会長に松良委員、副会長に吉田委員が選出された。</p>
5	正副会長挨拶
6	<p>報告事項(要旨)</p> <p>(1) 宇治市環境保全審議会の沿革について</p> <p>事務局より、報告事項1「環境保全審議会の概要及び沿革について」の説明を行った。</p> <p>(2) 宇治市の地球温暖化対策の取り組み</p> <p>事務局より、報告事項2「宇治市の地球温暖化対策の取り組み」の説明を行った。</p>

質疑応答（発言要旨）

（委員）

資料から宇治市域の温室効果ガスの排出量が減少していることは把握できる。新型コロナウイルス感染症の影響はあると考えるが、どのように捉えているか。

プロジェクトチームについては縦割りではなく、部局横断的に取り組んでいることを承知しているが、事務局では取り組みが難しい事など、事業者が協力できるところは進めていきたい。

エコ・アクション・ポイントやゼロ・エネルギーハウス（ZEH）の補助金交付事業について、宇治市民としてはありがたい取り組みと考えている。ZEH 補助金の国・府・市それぞれの補助額を教えてください。太陽光発電は、余った電力を電力事業者に売却できるが、売却値が下がってきており、蓄電池の設置は必然になっている。

事務局

温室効果ガスの最新の排出状況は新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度の数値となっている。令和2年度の数値については新型コロナウイルス感染症の影響で家庭用電力量が増えているという情報があり、家庭部門は上昇するのではないかと推測している。

ZEH の国の補助金は昨年度 60 万円、本年度 55 万円となっている。国の補助金対象者に宇治市で 30 万円の補助を実施している。リノベーションや新築の場合は通常の家を建てる事に比べ数百万円程度高くなる。国や市の補助を活用しても賄えるものではないが、ランニングコストを考えると十分ペイできるものであると考える。制度自体についても存分にアピールをする。

プロジェクトチームは、月 1 回会議を開催しており、公園緑地課、産業振興課など複数の課が携わっている。脱炭素は市内全域で考えないと効果が発揮できないと考えている。エコ・アクション・ポイント事業ひとつ取っても、多くの市民の方に取り組んでいただきたいと考えている。ポイントの交換商品に植物公園の入園チケットを掲載し、全国で宇治市植物公園をアピールする事ができている。

（委員）

自治体によっては公共施設等に太陽光パネルを設置し、電力を賄おうとする事例もある中、宇治市の公共施設の太陽光パネル設置状況はどうなっているか。

宇治市では運輸部門での排出量は変動が少ない。数 10 年の期間では、産業構造が変わって物流関係の配送が増えており、物流の車関係の CO2 削減をどう進めるか。宇治市で国道 24 号線沿いに物流拠点を作るという大きな方針を持っている点について、地球温暖化対策の面からは心配である。

23 年度までが現計画の期限となり、次期計画の方針はどうするのか。

事務局

市の公共施設について、庁舎の屋上などには太陽光パネルを設置しており、新設の施設には極力設置するよう検討しているが、既存の公共施設にはほとんど設置されていない。脱炭素推進プロジェクトチームの中でも公共施設での太陽光発電設備設置を含め、どの程度まで ZEB を目指していくのか協議をしている。

運輸部門に関しては、大手のネット通販などで宅配購入される方が多く、それ自体を止めていくことはできないが、電気自動車などの環境にやさしい車にシフトできるよう後押しをできるかについてプロジェクトチームで検討したい。

2023 年度に終了する現計画については、来年度に次期計画を策定する予定としている。第 6 次総合計画においても「脱炭素社会へのチャレンジ」を掲げており、「市民と築くゼロカーボンのまち宣言」も行っている中、委員の方々の意見も含め次期計画を作りたいと考えている。

(委員)

物流関係の件について、宇治市が進めている安田町周辺の物流拠点を建てるという話もあり、環境に配慮した整備ができないか。

副市長

宇治市では人口減少が進む中、新たな雇用を創出し、定住人口の拡大に繋げるため、国道 24 号沿道地区における産業立地の取組を進めている。

ご指摘いただいたように農地を産業用地に転換することから、環境保全の取組や農業振興の取組を進めていく必要があると考えている。

(委員)

京都府の 2020 年度の温室効果ガス排出量は 2013 年度比で△19.1%となっており、その中の運輸部門は△13.1%であり、京都府の解析では自動車の燃費性能の向上、新型コロナウイルス感染症の影響で輸送量が減少したこと等が挙げられている。宇治市の運輸部門があまり減っていないことについてどのように解析されているのか。

5 つの柱の中の「循環型社会への移行」の廃棄物の取り組み、3R のリサイクルについては、分別品目を増やすとそれだけ輸送も増え、エネルギー消費も増えるなど、逆に CO2 を出す事も多々ある。

エコ・アクション・ポイントについて、ネット環境にない方やポイントが使いにくい方に対してのフォロー体制を教えてほしい。京都府では平成 20 年頃にエコポイントを導入し、太陽光発電導入の人に対して現金ではなくエコポイントを付与していたことがあるが、ネット環境に厳しい方への対応等上手くいかなかった経過がある。

事務局

運輸部門については、保有台数に排出係数を乗じて算出しており、細かな分析はできていない。

エコ・アクション・ポイントについては、スマホかパソコンを持っている方が利用可能で、操作説明等の支援方法としてスマホ操作の説明会などを開催している。要望のあった町内会で説明会を実施し、10人程度の人数全員に習得していただくにはかなりの時間を要した。また、スマホの保有率等は府で実施された時に比べ、上昇傾向にあると考えている。

循環型社会への移行について、リサイクルに加えリユースも進められるよう検討している。

(委員)

当日の紙資料については、事前にも送られてきており、多くの紙が使われている。資料について、事前を送る場合はメールを利用し無駄を省く等の配慮が欠けている。

大学の授業はペーパーレスで行っており、別の審議会ではタブレット端末を使用しているの会議が行われている。環境企画課でも率先して実施すべき。

事務局

宇治市としても紙の削減に努めている。資料の配布の方法含め紙の削減に一層努力したい。

(委員)

今年の環境企画課の事業でゴーヤの苗を配り、みどりのカーテン講習会をされたが、事業報告に入っていない。以前にコンテスト形式をされていた緑のカーテン・緑の柵事業があったが、コロナ等諸事情があってできなかったかと思う。今後事業は進めるのか。

事務局

緑のカーテンコンテストについては、コロナの関係で中断しているが、今後の実施については改めて検討する。

(委員)

温室効果ガス排出量の算定・算出は毎年行っているものではないのか。

事務局

排出量の計算は毎年実施している。計算に使用する係数等が2年遅れで提供されるものがあるため、現状では2019年度のものが最新となる。

事務局

(3) その他報告事項について

事務局より、「(仮称) 太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」の説明を行った。
資料 10 ページから 12 ページ

質疑応答 (発言要旨)

(委員)

2050 年のカーボンニュートラルや 2030 年で削減量 46 パーセントの目標については京都府の環境審議会で審議中。太陽光発電については、禁止・抑制区域に加え、促進区域を設けることについても検討してはどうか。

事務局

市町村において、再生可能エネルギー設置の促進区域等の設定について努力義務があることは承知している。宇治市としても、次期計画策定の際に促進区域を盛り込むことができるのか検討する必要があると考えている。

市町村では、促進より禁止・抑制等の住環境を考慮した条例が作られる傾向がある。宇治市に提出された請願についても抑制が主旨となっている。環境企画課としては環境保全を含め、地球温暖化対策に向け、どのように促進区域を設定するのかについて引き続きの課題と考えている。

(委員)

太陽光発電とか再生可能エネルギーの利用も大切ではあるが、節電についても意識してほしい。

7 その他連絡事項等について

事務局

事務局より、以下の連絡がなされた。

- ・ 配付された宇治市環境保全審議会委員名簿は、ホームページ等で公開予定。
- ・ 現計画の宇治市第 2 次環境保全計画及び第 2 次地球温暖化対策地域推進計画は令和 5 年度末に終了、次期計画に策定に向けて審議会を開催予定、改めてご連絡を差し上げる。

宇治市環境保全審議会会議録要旨

会長

会長より、以下の連絡がなされた。

- ・議事録の作成は、事務局が行う。
- ・内容の精査は、会長が行う。

8 閉会挨拶（副市長）

9 閉会